

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営                    | 22  |
| 1. 理念の共有                       | 3   |
| 2. 地域との支えあい                    | 3   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 5   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 7   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 4   |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 10  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 4   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 6   |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 17  |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 3   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 10  |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 38  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 30  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 8   |
| V. サービスの成果に関する項目               | 13  |
| 合計                             | 100 |

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点]（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 事業所名            | 愛の家グループホーム沼津が入道  |
| （ユニット名）         | 2階               |
| 所在地<br>（県・市町村名） | 静岡県沼津市我入道江川5-1   |
| 記入者名<br>（管理者）   | 今野 恵美            |
| 記入日             | 平成 19 年 4 月 18 日 |

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項 目                |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |                                                                             |                                                |      |                                               |
| 1. 理念と共有           |                                                                             |                                                |      |                                               |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | ホーム理念をホームの所々にはってある                             |      |                                               |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 会議時、管理者、職員での唱和<br>スタッフの目の届く所に理念を貼り意識の向上を目指している |      |                                               |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 運営推進会議を開催し地域の方達や家族に対して理解を求めている                 |      |                                               |
| 2. 地域との支えあい        |                                                                             |                                                |      |                                               |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 入居者と散歩中での近隣の方との挨拶や会話を大切にしている                   |      |                                               |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域の行事があるときは、入居者と参加出来るような事に関しては参加させて頂いている       | ○    | 入居者と地域の方々との交流が出来るように地区の行事の情報収集と参加する機会を作っていきたい |

| 項 目                   |                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                      | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 6                     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                  |                                                      | ○    | 今 私たちに何が出来るのか、話し合っていきたい               |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                   |                                                      |      |                                       |
| 7                     | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                           | 前回指摘された事に関して取り組みを行なっていました                            |      |                                       |
| 8                     | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている           | 運営推進会議で話し合ったことに関して、職員に書面や職員会議にて報告しサービスの向上に活かすようにしている |      |                                       |
| 9                     | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                            | 管理者等が市役所に足を運び情報の共有をするようにしている                         |      |                                       |
| 10                    | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している |                                                      | ○    | 研修などで学んでいき必要時には取り込んでいけるように前向きに学んでいきたい |
| 11                    | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている            | 拘束、虐待に関して職員に会議等で話し合い理解して頂き虐待や拘束が行われないように注意を払っている     | ○    | 今後も高齢者虐待防止法について研修などで行って防止に努めていきたい     |

| 項 目             |                                                                                                          | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                    |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 |                                                                                                          |                                                                                     |      |                                                                                     |
| 12              | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 契約時十分な時間を取り不安や、疑問点の説明を行い納得して頂いた上での契約、解約を行うようにしている                                   |      |                                                                                     |
| 13              | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 必要時において時間をもうけ話を聞かさせていただき、内容を職員全員で検討して意見や不満、苦情に対する改善の対策をとっている。                       | ○    | 入居者の不満や、意見、苦情が少なくなるように、そのようなことがあった場合には、今後も職員会議にて話し合って行き又必要時においては迅速に対応していけるようにしていきたい |
| 14              | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 月に一度家族への通信にて健康管理、金銭管理、職員の異動に対して報告している。又、必要に応じて電話連絡や面会時にて報告するよう努めている                 |      |                                                                                     |
| 15              | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族が話しやすいように、玄関入り口にて苦情窓口先の掲示また運営推進会議にて意見等を聞き、大切なご意見をそのままにしないように職員に伝達し運営に反映させるようにしている |      |                                                                                     |
| 16              | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                            | 月に一度リーダー会議の中で意見を聞く場を設けている                                                           |      |                                                                                     |
| 17              | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 柔軟な対応が出来るようにその際には管理者やリーダーに報告してもらい対応できる様にしている                                        |      |                                                                                     |
| 18              | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 入居者が安心して暮らせるように異動に関しては必要最小限に抑えるよう配慮している                                             |      |                                                                                     |

| 項 目                       |                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援               |                                                                                                   |                                                                                  |      |                                    |
| 19                        | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 研修の時間を設け勉強会の開催。また法人内外の研修に関しても積極的に参加していくように働きながらトレーニングしていく事が出来るように呼びかけ参加の機会を設けている |      |                                    |
| 20                        | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修の参加や互いのホームの行き来にて交流の機会を持ち意見交換などを行っている。                                          | ○    | 地域包括センターの方々に協力を求めサービスの向上に取り込んでいきたい |
| 21                        | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 本部にて職員の為の苦情窓口の設置にて、担当者がいつでも対応できるようなシステムがある                                       |      |                                    |
| 22                        | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 定期的に行われる職員評価のフィードバックの機会を通して、課題へのアドバイスや今後の目標の再確認を交え話をし、各自の向上心へと繋がるよう取り組んでいる。      |      |                                    |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援     |                                                                                                   |                                                                                  |      |                                    |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                   |                                                                                  |      |                                    |
| 23                        | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 利用に至るまで、必要に応じて何度も足を運び話を聞き、専用の用紙にて聞き漏れの無いよう安心と信頼に向けた関係作りが出来るよう受けとめる努力をしている        |      |                                    |
| 24                        | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 不安等があれば足を運んだり、電話等でも機会を作りご家族に関しても安心してお任せしていただけるように信頼関係と共に受けとめる努力をしている             |      |                                    |

| 項 目                       |                                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|
| 25                        | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                                | 入居前の状況や情報を元に職員間で話し合い、必要としているサービスをプランに盛り込めるよう十分検討し努めている                              |      |                                                               |
| 26                        | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 今まで使い慣れた家具や思い出の品等の居室の環境設備の配慮をし、他の入居者との関係が上手く出来るように職員がさりげなく関わっていき場の雰囲気や馴染めるように心掛けている |      |                                                               |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                         |                                                                                     |      |                                                               |
| 27                        | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 入居者とゆっくり、一緒に楽しんでをモットーに介護だけにとらわれず学ばせてもらったり、支えあったり、笑ったり過ごしていく事を目指している                 | ○    | 職員で決めた年間フローの目標に徐々に近づけられるよう意識し今後も入居者と過ごしていけるよう努めていきたい          |
| 28                        | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                  |                                                                                     | ○    | ご家族と話す時間を今以上に作っていきたい                                          |
| 29                        | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                      | 面会時や月一度の通信、また必要に応じてお電話したりと様子をお伝えし良い関係が築いていけるように努めている                                |      |                                                               |
| 30                        | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                        | 面会や外出を通じて寂しい思いや悲しい思いをなるべくしないようにご家族にも協力していただいている。                                    | ○    | 気軽に面会にこれるような環境作りへの対応                                          |
| 31                        | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                       |                                                                                     | ○    | 一部の利用者同士の関係が上手くいっていない状況もある為、ご家族にも協力してもらい、ご本人の情報収集と対策を考えていきたい。 |

| 項 目                                |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)              |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      |                                                                     | ○    | まだそのようなケースは無いが必要時に関しては出来る限り関係を大切にしていきたいと思っている |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                                                                                                     |                                                                     |      |                                               |
| 1. 一人ひとりの把握                        |                                                                                                     |                                                                     |      |                                               |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | 思いに対して把握に努めている                                                      |      |                                               |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 本人から聞いたり又家族から聞かさせて頂いたりしている                                          |      |                                               |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | 日勤帯、夜勤帯と日報での把握、毎日のケア記録にて総合的に把握できるようにしている                            |      |                                               |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |                                                                                                     |                                                                     |      |                                               |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人や家族の意見を参考にし、担当省会議の場で皆で話し合い、本人にとってより良く暮らす為のお手伝いが出来るようケアプランに盛り込んでいる |      |                                               |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ユニットの会議以外にも、ご本人の状況変化に応じて職員間や家族との話し合いを行い現状に即した計画作成できるように努めている        |      |                                               |

| 項 目                         |                                                                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                                      |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 38                          | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている     | ケース記録へ日々の情報を記入し、職員間で情報を共有しながらケアに活かしている。また、会議の場で話し合い、プラン内容の見直しへも活用している。 | ○    | 職員一人一人がもう少し入居者様個人のケアプランの課題を意識していけるようにしたい。また、記録への記入を充実させていく事でより良い介護計画に繋がっていけるようにしていきたい |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                 |                                                                        |      |                                                                                       |
| 39                          | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている               | 出来る限り支援できるように努めている                                                     |      |                                                                                       |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                 |                                                                        |      |                                                                                       |
| 40                          | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している              |                                                                        | ○    | 取り組みをしてこなかった訳ではないが一部の地域資源との協働しか出来ていなかった為もっと色々な人たちとも協力し、支援していきたい                       |
| 41                          | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている   |                                                                        | ○    | そのようなサービスの支援は現状では無かった為、今後は状況に応じて広い視野でサービスの検討をしていきたい。                                  |
| 42                          | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している  |                                                                        | ○    | 地域包括支援センターとの協働に努めていけるようにしていきたい                                                        |
| 43                          | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | いつでもDrと連絡できる体制をとっており、必要に応じて管理者等が足を運び迅速に適切な医療を受けられるように支援している            |      |                                                                                       |



| 項 目 |                                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                     | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------|
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                                              | 認知症相談医師の協力により支援している                                 |      |                                                                |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                                                             |                                                     | ○    | 看護職の方が新しくなったばかりなので、支援できていない部分もあるため一日でも早く慣れただけよう私達も協力していきたいとおもう |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | そのような場合病院関係者との連携に関しては協働できるよう努めている                   |      |                                                                |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 契約時に家族にはお話を管理者がお伝えしている                              | ○    | 全員で方針を共有できていない所があるため早い段階で話し合っていき共有できるようにしていきたい                 |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 家族への説明や主治医への相談、ユニットの会議を通じてチームとしての支援体制、準備をしている。      |      |                                                                |
| 49  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 別の居所へ移り住む際でも穏やかに、楽しく本人らしく暮らせるよう担当関係者との十分な話し合いに努めている |      |                                                                |

| 項 目                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                        | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                         |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------|
| <b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |                                                                                        |      |                                                                          |
| 1. その人らしい暮らしの支援                 |                                                                                        |      |                                                                          |
| (1) 一人ひとりの尊重                    |                                                                                        |      |                                                                          |
| 50                              | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     |      |                                                                          |
| 51                              | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている |      |                                                                          |
| 52                              | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している      | ○    | 認知症の介護をしていく上で大切な事なので十分出来るように今後も職員と話し合っていきたい希望に添って生活を支援していく事が出来るようにしていきたい |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援   |                                                                                        |      |                                                                          |
| 53                              | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  |      |                                                                          |
| 54                              | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている           | ○    | 本人の出来る事出来ない事を把握し、皆で協力しあい楽しみながら出来るようにしていきたい                               |
| 55                              | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  |      |                                                                          |

| 項 目                          |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                         | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                           |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 56                           | ○気持よい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している         | 失敗が無いように時間でのトイレ誘導やまた本人の力で出来る所では介助をせず極力本人に行なって頂けるように気持ちよく排泄できるように支援をしている |      |                                                                            |
| 57                           | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    |                                                                         | ○    | 1人だけではないので不公平の無いように入浴して頂いているが入浴の際には1人1人がゆっくり満足し入浴していただけ出来るようにこれからも支援していきたい |
| 58                           | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 落ち付いた声掛けや環境作りに努めている                                                     |      |                                                                            |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                  |                                                                         |      |                                                                            |
| 59                           | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 生活暦を本人や家族より聞き、また日々の生活の中から見つけその方にあった楽しみを支援できるように努めている                    |      |                                                                            |
| 60                           | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 基本的にお金の管理は事故防止のためホームにて管理している                                            |      |                                                                            |
| 61                           | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 定期的に皆さんの意見を聞き外出している。個人個人の外出に関してはご家族の協力にて対応している                          |      |                                                                            |
| 62                           | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご家族と話し合い協力していただきながら出かけることが出来るように支援している                                  |      |                                                                            |

| 項 目            |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 63             | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 好きなときに好きなだけ電話できるよう支援している。又、手紙のやり取りが出来るようにも支援している                     |      |                                  |
| 64             | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 訪問しやすいような環境作りに努め監視せず好きなだけ居ていただく事が出来るように努めている                         |      |                                  |
| (4)安心と安全を支える支援 |                                                                                         |                                                                      |      |                                  |
| 65             | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束のないケアをしている                                                         |      |                                  |
| 66             | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  |                                                                      | ○    | やもえず施錠をしているが、時間を決め解除するケアを検討中である  |
| 67             | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | さりげなく見守りをし、個人のプライバシーと安全に十分配慮できるよう努めている                               |      |                                  |
| 68             | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 本人の気持ちを理解し、個々に合わせて配慮出来るように職員間で話し合い危険を防ぐ取り組みに努めている                    |      |                                  |
| 69             | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 研修や勉強会を開催して事故防止の知識を学ぶようにしている。<br>又、1人1人の状態把握に努め見守りを常に行うようにして取り組んでいる。 |      |                                  |

| 項 目                        |                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                      |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------|
| 70                         | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | 緊急マニュアルをもとに研修を行なっている                                                              | ○    | 新職員の方も居る為職員全員が把握できるように看護師にも協力を求め定期的な緊急訓練を行っていくようにしていく |
| 71                         | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 定期的に訓練を行っている<br>また地域の方たちとの訓練にも参加をしている                                             | ○    | 地域の訓練にも積極的に参加し協力を求められるようにしていきたい                       |
| 72                         | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | リスクについてのお話をご家族に面談時説明を行い理解を求めている。その人らしい生活を大切にする為に、職員間で話し合い、対応策を検討している。             |      |                                                       |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                              |                                                                                   |      |                                                       |
| 73                         | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 日々のバイタル測定や様子にて変化が生じられた場合申し送り等にて職員全員が共有できるよう努めている。又、主治医や看護師にも報告をし速やかに対応できるように努めている |      |                                                       |
| 74                         | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 受診報告書にて職員に伝わるように連絡ノートや申し送りにて対応している                                                | ○    | 処方説明書にて完璧に内容の把握が出来るようにしていきたい                          |
| 75                         | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 排便チェックや一日1回の乳飲料、ヨーグルトの対応また日々の運動にて予防できるように対応してる                                    |      |                                                       |
| 76                         | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                    | 介助が必要な方に関しては出来ている                                                                 | ○    | 出来ていない部分もあるためしっかりと対応が出来るように声掛けや介助をしていく                |

| 項 目                     |                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 栄養バランスに関しては栄養士により対応できている。水分量に関しては水分チェック表にて把握し足りない部分は介助し支援している |      |                                  |
| 78                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）                                         | 本部の指示に従い洗濯や消毒、汚物の対応、一介助につき一手洗いと実行している                         |      |                                  |
| 79                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている                                        | 厨房職員にて管理されている                                                 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                           |                                                               |      |                                  |
| (1)居心地のよい環境づくり          |                                                                                                           |                                                               |      |                                  |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 植物を増やしたり日中施錠せず安心して出入りの出来るように対応している                            |      |                                  |
| 81                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロアーの飾り付けに配慮し季節感を感じていただけるように努めている                             |      |                                  |
| 82                      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 自由に過ごすことが出来るように職員が声掛けたりし思い思いに過ごして頂いている                        |      |                                  |

| 項 目                     |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                      | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 83                      | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた馴染みのある物を持ってきていただき居心地よく過ごせるように配慮している                                             |      |                                  |
| 84                      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 本人の気持ちを害さないようさりげなく対応している                                                             |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                         |                                                                                      |      |                                  |
| 85                      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 身体機能をできるだけ落とす事の無いように出来る事出来ない事の把握を職員同士で話し合い、出来る事に関してはゆっくりでも見守りにて対応し自立した生活が送れるよう工夫している |      |                                  |
| 86                      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | さりげない声掛けと意欲の向上を意識して声掛けにも工夫している。又、失敗や混乱を防ぐよう個々に合わせた理解しやすい伝え方に努めている。                   |      |                                  |
| 87                      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | 畑や花壇を通して職員と共に野菜や花を植える活動をし、一緒に楽しみを味わっている。                                             |      |                                  |

| V. サービスの成果に関する項目 |                                                 |                       |              |
|------------------|-------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 項 目              |                                                 | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     |                       | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |                                                 | ○                     | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | ○                     | ①毎日ある        |
|                  |                                                 |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |                                                 |                       | ③たまにある       |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている |                       | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |                                                 | ○                     | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |                                                 |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどできていない  |



| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |                                                         |                       | ②数日に1回程度     |
|     |                                                         | ○                     | ③たまに         |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | ①大いに増えている    |
|     |                                                         | ○                     | ②少しずつ増えている   |
|     |                                                         |                       | ③あまり増えていない   |
|     |                                                         |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている                                          |                       | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                         | ○                     | ②職員の2/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                         | ○                     | ②利用者の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                         | ○                     | ②家族等の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどできていない  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の気持ちを尊重し家族のような笑顔の多いフロアーを目指し日々職員一同取り組み中であります。